

記者発表資料

第3回 由比地すべり対策検討委員会 議事概要について

平成17年2月18日

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所
静岡県土木部
河川砂防総室砂防室

1. 経 緯

静岡県庵原郡由比町由比地区（サッタ山）において、豪雨や東海地震等により大規模な地すべりが発生するおそれがあることに鑑み、地すべり機構とその対策の基本的な方針について検討するために、地すべりに関する学識経験者等で構成される由比地すべり対策検討委員会を設立し、平成16年6月18日に第1回委員会、10月22日に第2回委員会を開催し、本日第3回委員会を開催しました。

第3回委員会では調査結果等を基に、地震対策の考え方・地すべり防止工事の進め方・今後の調査観測計画について検討しました。

2. 第3回 由比地すべり対策検討委員会の概要

- (1)日 時：平成17年2月18日（金） 14:00～16:30
- (2)場 所：ホテルアソシア静岡ターミナル 3F 駿府
- (3)委 員：別紙1
- (4)事務局：国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所
静岡県土木部河川砂防総室砂防室

3. 検討結果の概要

第3回委員会検討結果を含めた全体とりまとめ結果を別紙2に示す。

4. 今後の予定

委員会は年1回程度とし、委員会の下に地震及び技術的検討を行う技術検討部会を設置する。

5. 解禁

指定なし

6. 配布先

静岡県政記者クラブ

7. 問合せ先

本日（2/18）16:30～19:00までは、富士砂防事務所職員も県庁砂防室に控えておりますので、お問い合わせは、県庁砂防室にお願いいたします。

国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所

TEL：0544-27-5221（代）

副 所 長 早川 信光

建設専門官 林 満

静岡県土木部河川砂防総室 砂防室

TEL：054-221-3043

室 長 加納 章

傾斜地保全係長 水野 秀明

第3回 由比地すべり対策検討委員会

出席委員名簿

委員長

○土 隆一 静岡大学 名誉教授

委員

(五十音順、敬称略)

○長田 真一 国土交通省 中部地方整備局 道路部 道路管理課長
○木全 俊雄 国土交通省 中部地方整備局 企画部 防災対策官
○境 道男 国土交通省 中部地方整備局 河川部 電気通信調整官
○佐野 平一郎 由比町 建設課長
○柴田 洋三 東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部 企画開発部 担当課長
○菅野 一弘 国土交通省 中部運輸局 静岡運輸支局長
○土屋 智 静岡大学 農学部 森林資源科学科 教授
○富田 陽子 国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所長
○中村 浩之 東京農工大学 大学院 教授
新津 武史 国土交通省 中部運輸局 鉄道部技術課長
○(代理出席： 大野 義明 国土交通省 中部運輸局 鉄道部技術課長補佐)
○西本 晴男 独立行政法人 土木研究所 土砂管理研究グループ長
○藤田 壽雄 社団法人 日本地すべり学会 理事
前田 幹夫 静岡県 総務部防災局 防災政策室長
○(代理出席： 清水 浩彰 静岡県 総務部防災局 防災政策室 主査)
松尾 修 独立行政法人 土木研究所 耐震研究グループ長
溝江 実 日本道路公団 東京管理局 保全企画課長
○(代理出席： 荒木 節夫 日本道路公団 東京管理局 保全部 調査役)
森本 励 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所長
○(代理出席： 柳 武市 国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長)
○山崎 省一 静岡県 土木部 河川砂防総室 砂防統括監

○：出席委員

平成 16 年度 由比地すべり対策検討委員会 とりまとめ結果概要

1. 地すべり対策の必要性

重要な保全対象が存在する由比地区（サッタ山）は、地すべり発生の可能性があり、東海地震発生の可能性が高いことから、地すべり対策を早急に実施する必要がある。

また、保全対象や東海地震を勘案し、地すべり防止工事（ハード）と監視・観測網の整備（ソフト）を合わせた、総合的な地すべり対策を行う必要がある。

2. 地すべり機構

現時点において考えられる地すべり機構は、調査・検討結果により別添図（図－1～図－4）のとおりである。

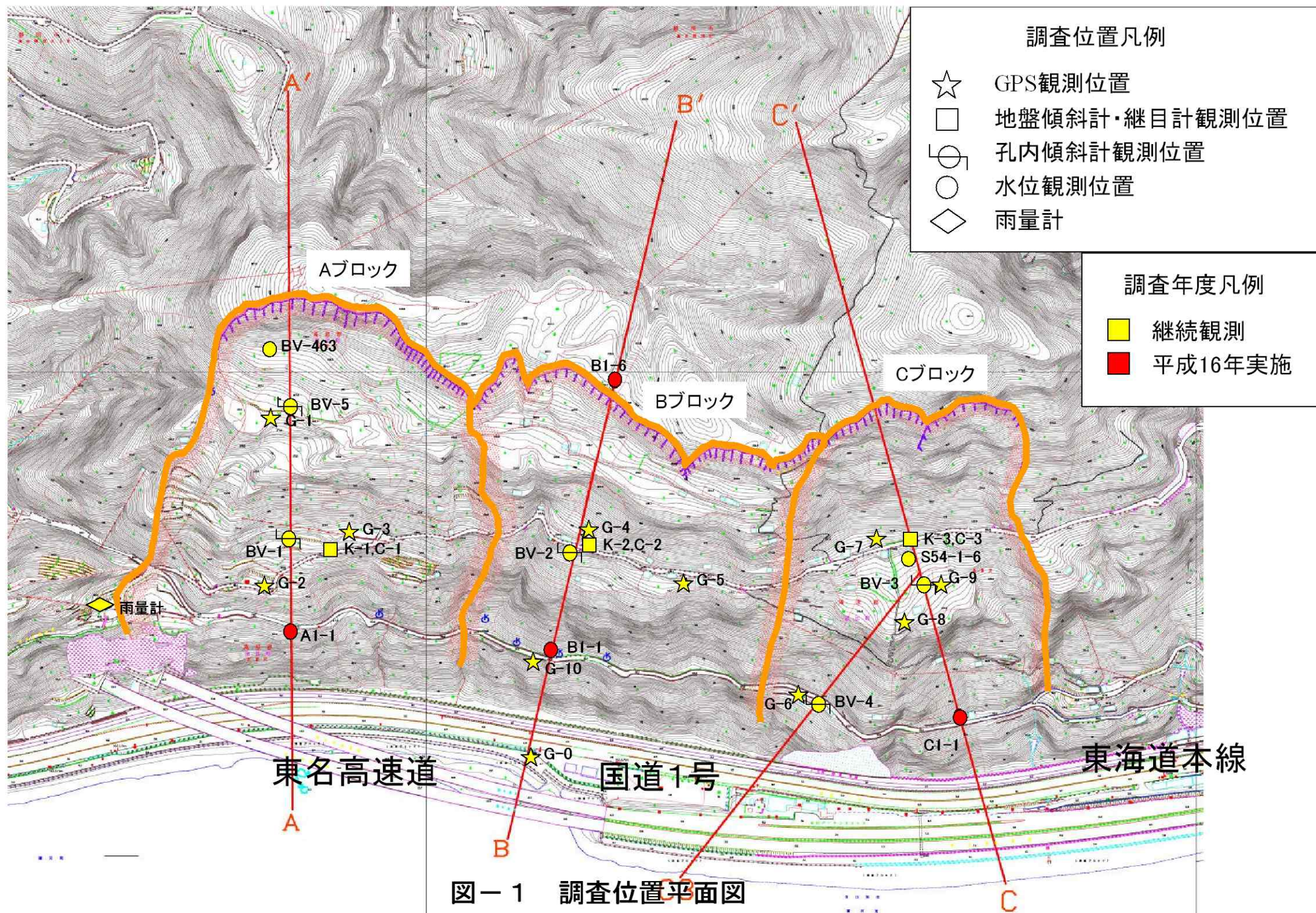
3. 地すべり防止工事の基本方針

由比地区（サッタ山）の地すべり防止工事は、現時点において考えられる地すべり機構に基づき、以下に示す基本方針をもとに実施する。

- 保全対象の重要性、地すべりによる影響等を考慮して実施する。
- 抑制工による地下水排除を優先し、その効果を確認しつつ、抑止工を実施する。
- 地震を考慮した地すべり対策の検討を早急に行う。

4. 今後の調査および観測計画

地すべり機構を明確にし、地すべり防止工事の基本方針に基づいた対策工事を実施するため、調査の全体計画（図－5）に基づいた調査・試験及び観測を実施する。



図一 1 調査位置平面図

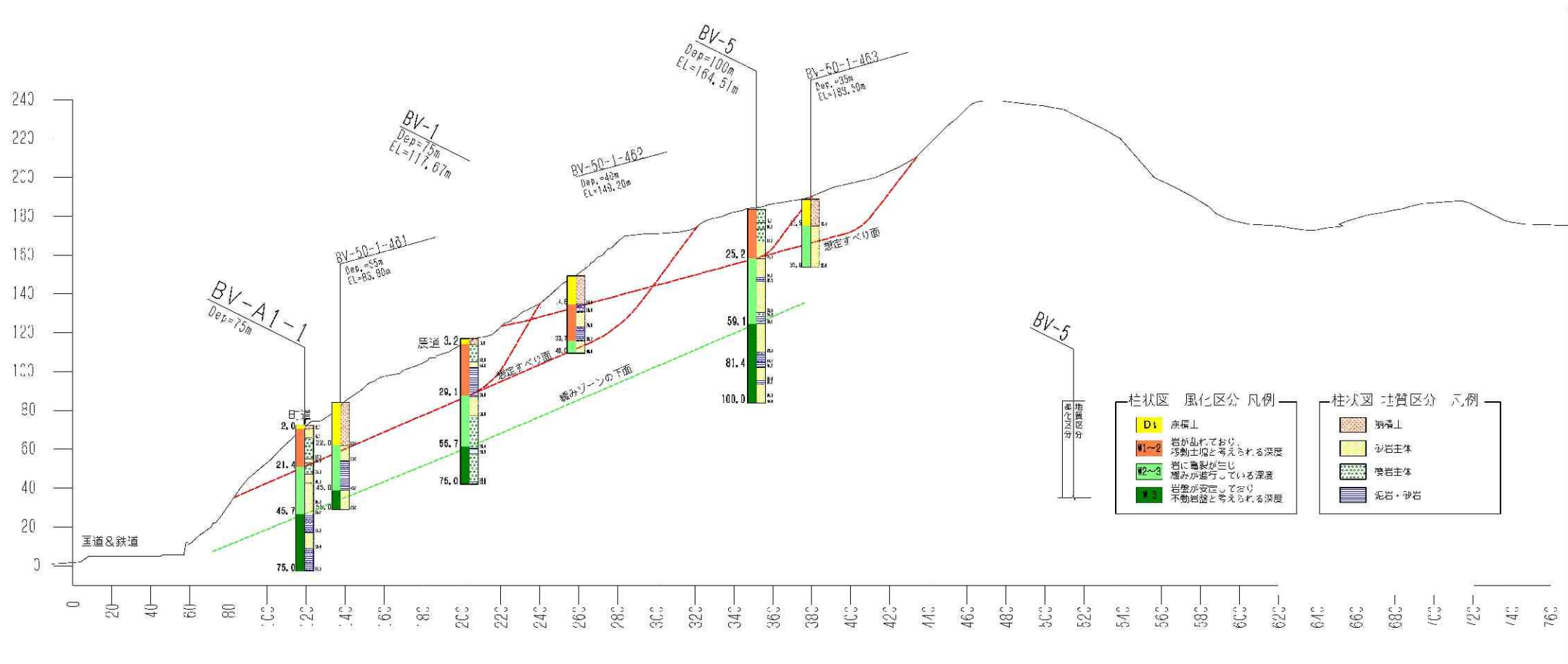


図-2 A-A'断面地質想定図

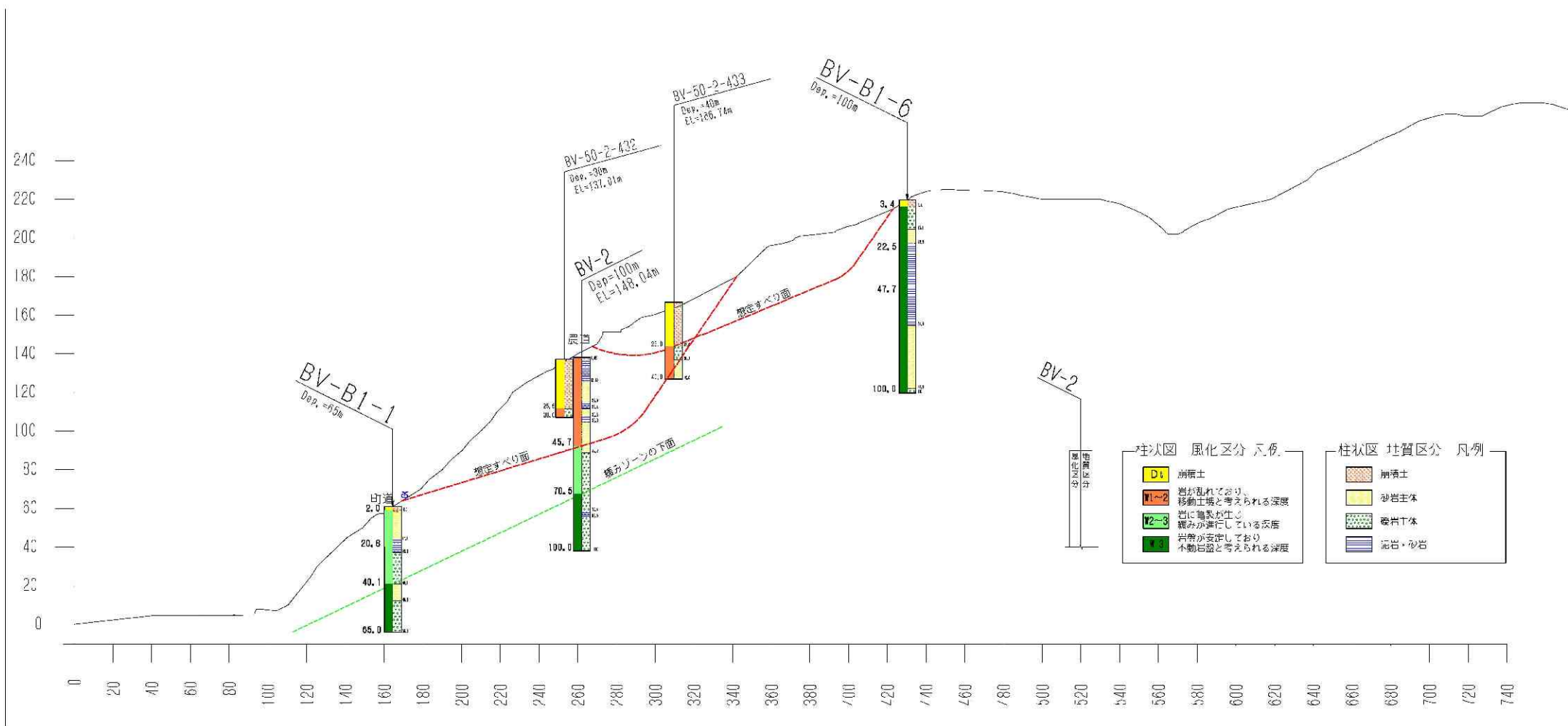


図-3 B-B'断面地質想定図

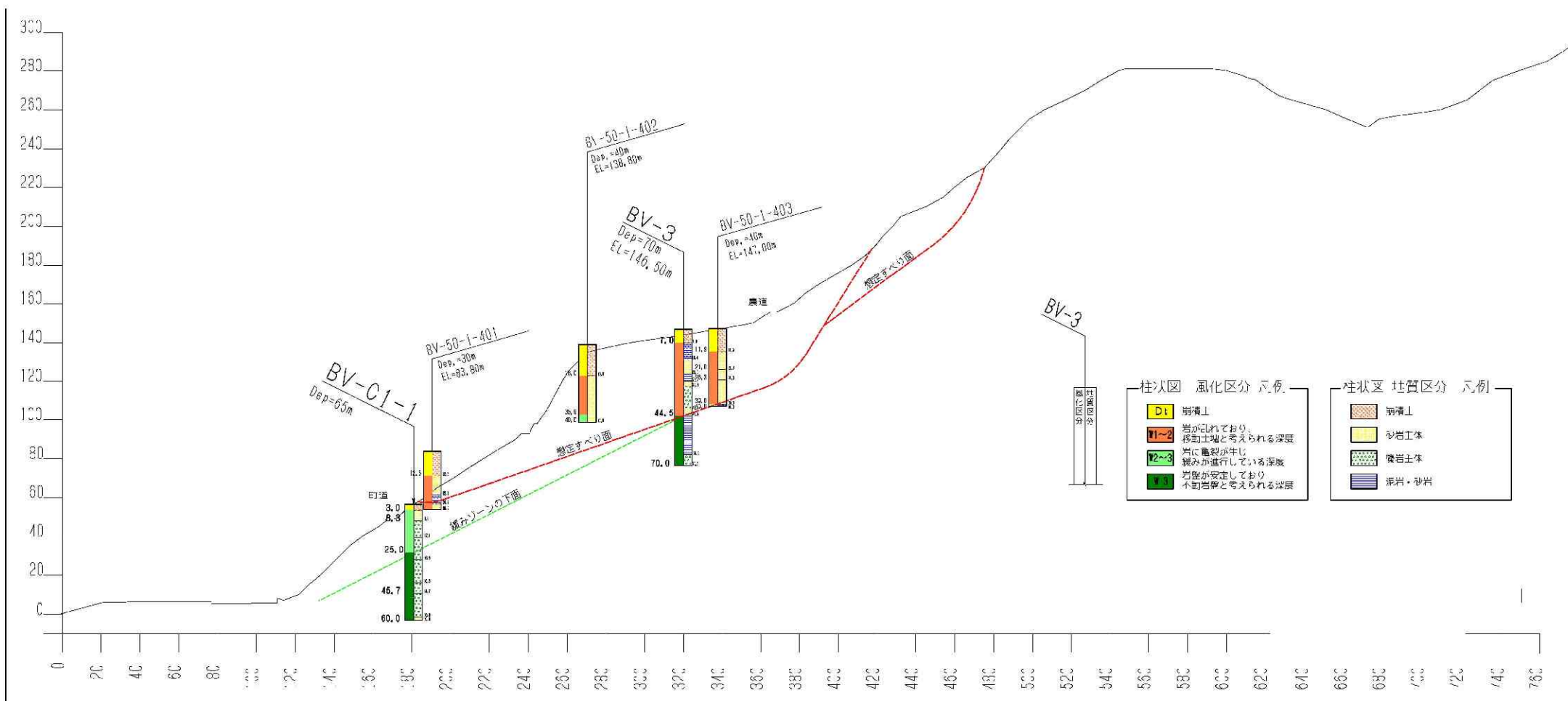
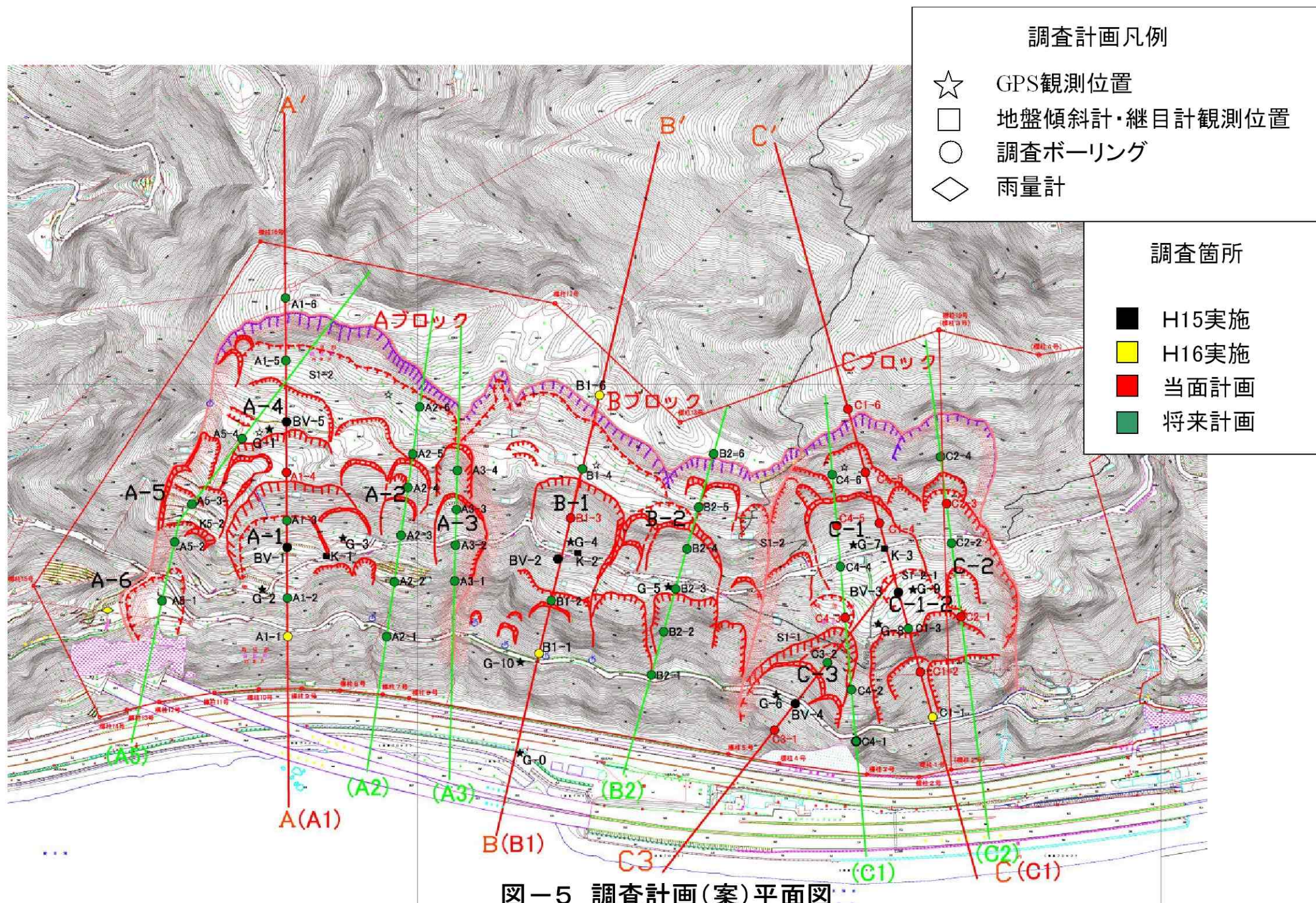


図-4 C-C'断面地質想定図



調査計画凡例

- ☆ GPS観測位置
- 地盤傾斜計・継目計観測位置
- 調査ボーリング
- ◇ 雨量計

調査箇所

- H15実施
- H16実施
- 当面計画
- 将来計画

図-5 調査計画(案)平面図